

仙台市で、避難所の効率運営に画像解析AIを提供 ～避難所における通信の確保と運営オペレーション実証実験に参加～



Neural Pocket



ニューラルポケット株式会社（以下ニューラルポケット）は、仙台市が実施した「仙台 BOSAI-TECH Future Awards～テクノロジーで明日を守るプランニングコンテスト」で採択されたアンデックス株式会社（以下アンデックス）の「地域 BWA を活用した AI カメラ 効率的な避難所運営支援」のパートナー企業として、仙台市における避難所での実証実験を行いました。

ニューラルポケットは、画像解析 AI 技術による避難所内の避難者や年齢性別などの属性情報収集の収集を行いました。アンデックスは、災害時における避難所内での通信確保に向けた地域 BWA サービスについて、実証を行いました。

ニューラルポケットでは、地方自治体・地域に強みを持つ企業と協働し、技術を活用した防災ソリューションの検討を進め、災害対応の円滑化による安心・安全の地域づくりに取り組んでまいります。

■ 実証実験概要

- ・実施日 2022年2月下旬
- ・場所 仙台市内避難所
- ・実証内容

① AI 画像解析技術による避難所運営の効率化

ニューラルポケットが提供する AI デジタルサイネージ「SIGN DIGI」により、個人情報を取得することなく、人数や年齢・性別などの属性を把握します。災害発生時の避難所の状況を自動的に収集・共有することで、避難所のオペレーション上の負担を軽減するとともに、円滑な物資配分等に資するデータ提供を目指しています。

② 地域 BWA を活用した通信手段の確保

アンデックスが提供する災害に強い地域 BWA を活用した「避難所Wi-Fi」を設置し、災害時に避難者向けにWi-Fiスポットを開放しインターネットによる情報収集を支援するほか、避難所と災害対策本部等への連絡手段の支援としても活用します。



AI デジタルサイネージ「SIGN DIGI」



地域 BWA に対応したアクセスポイント

・当日の様子



避難所の避難者受付ルート上に、災害情報や Wi-Fi 情報を掲示したニューラルポケットのサイネージを設置し、サイネージに搭載された AI カメラを活用して情報を見ている避難者の属性情報などが自動的に収集できることを確認しました。

アンデックスの地域 BWA を活用した避難所 Wi-Fi を設置および通信についても問題なく実施できることを確認しました。

■仙台 BOSAI-TECH (<http://sendai-bosai-tech.jp/>)

産学官金連携による BOSAI-TECH での新事業創出や共同研究、実証実験、企業・研究機関の新規立地等が仙台・東北から継続的に起こるとともに、その成果が社会実装される「BOSAI-TECH イノベーション・エコシステム」の形成を目指すもの。オープンイノベーションを通じた仙台防災枠組の理念に基づく製品・サービスの創出を支援する。また、大手企業・地域企業・外国企業・研究機関等、BOSAI-TECH イノベーション・エコシステムに関心のある全ての関係者の活動母体となるプラットフォームの形成・運営を一体的に実施する事業。

■社名: アンデックス株式会社

代表者: 代表取締役 三嶋 順

所在地: 宮城県仙台市青葉区大町一丁目 3 番 2 号 仙台 MD ビル 5 階

URL: <https://and-ex.co.jp/>

■社名: ニューラルポケット株式会社

代表者: 代表取締役社長 重松 路威

所在地: 東京都千代田区有楽町一丁目 1 番 2 号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー32 階

事業内容: AI エンジニアリング事業

URL: <https://www.neuralpocket.com/>